

永松茂久氏のビジネスファンタジー小説

「拝啓、諭吉様。」発売 3万部で10日刊行

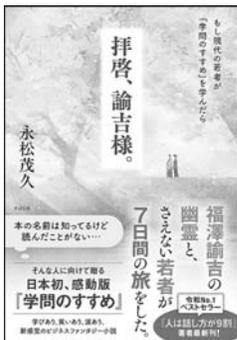
すばる舎 発売前に1万部重版

すばる舎は9月10日、永松茂久『拝啓、諭吉様。』

を発売する。発行部数140万部超（電子書籍含む）で、令和時代に最も売れた（CDP、CAN、TERA調べ）『人は話し方が9割』の著者の新作だ。書店からは約8000部の事前注文が寄せられ、早々に1万部を重



永松茂久氏



版。3万部でスタートする。『拝啓、諭吉様。』は、将来の不安を抱く25歳の若者、中西元の前に現れた福澤諭吉が『学問のすすめ』を教材にして、ビジネスの心得や生き方を指南するビジネスファンタジー小説。「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」という一節が有名だが、その奥底にある「平等」や

「自立」の真意を説いていく。中西は大分・中津市にある福澤諭吉の旧居や慶應義

塾大学、丸善丸の内本店、諭吉の墓がある東京・港区の麻布山善福寺など、諭吉と所縁の深い地を旅しながら、明治時代に一国を復興させた諭吉の心を知る。そして、中西は諭吉の計らいにより慶應義塾大学で講演することになった。こうして7日間の個人授業は終わるが、その後にも意外な展開が待っていた。

永松氏は諭吉と同じ、中津市の出身。同書はフィクション仕立てになっているが、登場する諭吉や偉人たちを除き、登場人物はほぼ全員が別名で実在する。「実学」を学び、周りの人を大切にす

る想いは、永松氏自身のメッセージに他ならない。巻末には、永松氏が小説のなかで訪れた地を紹介する動画のQRコードも特典として付けた。九州地区の書店を中心に同氏を応援する多くの書店が増売に意欲をみせる。同書に記された丸善丸の内本店は初回300冊を注文して大々的に展開する。

すばる舎が発行する永松氏の著書は今回で5作目、計180万部を超えているという。『拝啓、諭吉様。』においても地方紙や全国紙で積極的に展開していく。本体1700円。

